

全国農業協同組合中央会 会長賞



受賞
(ブランド名) 大河のおすそわけ神山鶏

石井養鶏農業協同組合
(徳島県)



【会社概要】

- 名称：石井養鶏農業協同組合
(徳島県名西郡石井町石井)
- 飼養羽数：275万羽
(うち「大河のおすそわけ神山鶏」：20万羽)
- 米ブランド開始：平成28年～
- ブランド名：「大河のおすそわけ神山鶏」

【受賞者の米活用畜産物ブランド化の取組】

石井養鶏農業協同組合は、徳島耕畜連携型農業研究会の中心的な役割を担って、飼料用米を給与した畜産物の高付加価値化や消費者へのアピールに取り組んでおり、「大河のおすそわけ神山鶏」は販売量を伸ばしている。また、高品質堆肥の製造など地域資源を循環利用した耕畜連携型農業を実践している。

【高付加価値化の取組】

- 抗菌物質・抗菌剤ゼロ(※法定ワクチンのみ接種)
平成元年より、抗生物質・抗菌剤を使用しない飼育法の研究を行い、キトサン・酵素・生菌・フラクトオリゴ糖・スタチパウダーなどの自然素材をベストバランスでブレンドした混合飼料「イシイミックス」を開発。腸内の善玉菌が増え、免疫力が向上。
- 大河のおすそわけ神山鶏のこだわり飼料(飼料用米は20%、トウモロコシは遺伝子組み換えなし、収穫後農薬なし、大豆かすは遺伝子組み換えなし)



【堆肥の活用で地域循環】

- 石井養鶏農業協同組合が中心となり、徳島耕畜連携型農業研究会を発足。鶏糞と地元の農業副産物(きのこ廃菌床)を混合した堆肥を生産し、高品質「大地のサプリ」のブランドで販売。県内の飼料用米生産農家、園芸農家が利用し、単収向上につながっている。



【大河のおすそわけ神山鶏の特徴】

- 大河のおすそわけ神山鶏の飼料は、飼料用米20%使用でたんぱく原料は植物性のみ。一般的なブロイラーの飼料と比べると、色も香りも違い、香ばしい穀物の香りがする。このため、ブロイラー特有のにおいが少なく、コクとうまみを感じる美味しい鶏肉に仕上がっている。

